

福井高等学校のみなさんへ

教育相談だより ～1574人1574色～ No.5



友達との“つながり方”を考えよう ①



2023年になり、1ヶ月が過ぎました。あと2ヶ月で、進級や進学・就職、クラス替え・・・と皆さんの立場や環境に、とても大きな変化が訪れます。変化への期待や楽しみも大きくなると同時に、不安を感じる人も多いかもしれません。そんなとき、皆さんの支えとなってくれるのが“友達”だと思います。

12月の教育相談だより「思春期の友人関係」と併せて、これからの友達との“つながり方”を考えてみませんか。

* * * * *

2010年代からよく使われるようになった「ぼっち」という言葉。そこには、“友達ができないダメなやつ”・“仲良しがいない、一人にいる子”といったネガティブな意味が多く含まれるようです。

それでは「友達」とは、「仲よし」とは、どんな相手、どんな関係のことを指すのでしょうか……？

英語では、「A friend in need is a friend indeed」ということわざがあるそうです。意味は、「困った時の友が真の友」。いつもはひとりぼっちだけれど、

“困っている人がいたら、そっと手をさしのべることができる人”

“にぎやかな輪に入ることはできなくても、必要な時に協力できる人”

“引っ込み思案で地味だけど、みんなで頑張るときには誠実に、気持ちよく頑張れる人”

そんな人と友達でいたい、つながりを持ちたい、と思いませんか？



さて、今度は逆に「ぼっちでいること」についても考えてみたいと思います。イギリスの児童精神科医、D・Wウィニコットによると、「ぼっちでいる」つまり「ひとりでいられる力」を身につけることによって、自分の中のさまざまな感情を成長・成熟させることができると言います。「ひとりにさせられる」のではなく、「ひとりでいる」という意識を持ってみてください。それは決して孤立ではありません。

みなさんの中には「みんなと一緒に」ということに不自由さを感じている人もいるかも知れません。“つながる”ことばかりにとらわれず、時には「一人でいること」で得られる自由な面も発見してみてくださいね。

参考：嘉嶋領子(2021)「ぼっちの歓び」『心理臨床の広場』⇒読みたい人は、高校1号館相談室までどうぞ。

スクールカウンセラー在室状況

- ★ 織田SC 月～金 8:30～17:30 土 8:30～13:30
- ★ 和多田SC 火・水・木 12:30～18:00



保護者の方からのご相談も受け付けております。

- ・ 子どもが学校に行きたがらない
- ・ 友達関係で心配なことがある
- ・ 家庭で気がかりな言動がある
- ・ 子どもへの接し方に悩んでいる 等

「こんなことで・・・」と感じるようなことでもお一人で抱えず、どうぞお気軽にご相談ください。

☎ 0776-29-7880 (高校代表)：織田 SC・小谷・白崎・森下 にご連絡下さい。(9:00～17:00)